

避難確保計画に基づく 避難訓練・結果報告について

③訓練編

(災害発生を想定した訓練・避難訓練の内容・訓練結果の報告)

坂戸市



災害発生を想定した訓練

災害発生を想定した訓練

- 目標を定めて(目的を意識して)自分達なりに訓練すること
- 災害が起きそうなときの状況をイメージしてみること
- できることから始めること

- ◆各施設の状況(入所者や職員の状況など)に応じて、自分達なりに訓練することが大切です。
- ◆いざというときに冷静な判断が出来る人は多くありません。災害時に発生しそうなことを【イメージすること】を意識しながら実施することが重要です。
- ◆災害時に必要な対応に、「万能な正解」はありません。また、災害は想定どおりには発生してくれません。「できること」と「できないこと」も、実際に確認してみることが大切です。

1. 段階的に発表される防災情報と

『要配慮者利用施設の主な行動』を
イメージしてみましょう。



情報収集



心のスイッチ
⇒防災モード



避難開始



避難完了

『参考動画』

MLIT channel動画「要配慮者利用施設の避難確保計画の作成について」

【第3部】避難に必要な時間の把握と避難開始のタイミングの判断(約7分)

<https://youtu.be/LOMH0sXbCAY>

段階的に発表される防災情報と『要配慮者利用施設の主な行動(例)』

警戒 レベル	1	2	3	4	5
雨の様子	<p>警報・注意報に先立ち発表 (警報・注意報を補充)</p> 	<p>災害の起こるおそれ</p> 	<p>重大な災害の起こるおそれ</p> 	<p>重大な災害の起こるおそれが著しく大きい</p> 	<p>災害発生</p> 
防災 気象情報	<p>川の様子</p> 	<p>氾濫注意情報</p> 	<p>氾濫警戒情報 洪水警報</p> 	<p>氾濫危険情報</p> 	<p>氾濫発生情報</p>  <p>氾濫発生</p>
避難 情報等	<p>早期注意情報 (警報級の可能性)</p>	<p>大雨注意報 洪水注意報</p>	<p>高齢者等避難</p>	<p>避難指示</p>	<p>緊急安全確保</p>
施設の 行動	<p>情報収集</p> 	<p>心のスイッチ ⇒ 防災モード</p>  <p>避難開始</p> 			<p>避難完了</p> 

段階的に発表される防災情報と『要配慮者利用施設の主な行動(例)』

警戒
レベル

1

警報・注意報
に先立ち発表
(警報・注意報を補充)



雨の
様子

防災
気象情報



川の
様子

避難
情報等

早期注意情報

(警報級の可能性)



情報収集

施設
の
行動

【入手する防災情報】

早期注意情報

検索

※気象庁ホームページ

翌日早朝にかけて警報級の可能性[中]となるケース

種別	1日	2日		3日	4日	5日	6日
	明け方まで	朝～夜遅く	6-24				
大雨	[中]	-	-	-	-	-	-
大雪	-	-	-	-	-	-	-
暴風(暴風雪)	-	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-

今夜、大雨警報が
発表されるかもしれない。
参集する職員に
声をかけておこう。



次の日に警報級の可能性[高]となるケース

種別	1日	2日		3日	4日	5日	6日
	明け方まで	朝～夜遅く	6-24				
大雨	-	[高]	-	-	-	-	-
大雪	-	-	-	-	-	-	-
暴風(暴風雪)	-	[高]	-	-	-	-	-
波浪	-	[高]	-	-	-	-	-

明日、警報が発表される
可能性が高い。
避難準備・高齢者等
避難開始を発令する
事態となるかもしれない。
手順を確認しておこう。



[高]のときは、気象警報等で
詳細な時間帯などを確認する。

気象
警報等

〇〇県
気象情報

【施設の防災イメージ(例)】

◆【避難確保計画】の確認

- ・ハザードマップ、避難先、避難経路
- ・避難行動の目安となる防災気象情報等
- ・市町村からの避難情報等の伝達方法
- ・役割分担、避難に必要な資器材、備蓄品



段階的に発表される防災情報と『要配慮者利用施設の主な行動(例)』

警戒レベル **2**

災害の起こるおそれ

雨の様子

氾濫注意情報

川の様子

避難情報等

大雨注意報
洪水注意報

施設の行動

心のスイッチ
⇒防災モード

【防災情報入手】

指定河川洪水予報 検索

表の黄色：氾濫注意情報

気象警報 注意報 検索

【施設の防災イメージ(例)】

◆雨や水位の情報収集

氾濫注意水位に到達しているし、雨もやまないので避難判断水位まですぐ到達しそう。

心のスイッチを入れる段階

◆施設責任者への報告

川の水位がキケンです

避難開始に向けた準備を進める段階

施設の体制を整えてください。避難のための準備をお願いします。

- 前日の休園や休業の判断
- 従業員や職員参集
- 避難のための準備 など

段階的に発表される防災情報と『要配慮者利用施設の主な行動(例)』

警戒レベル **3**

重大な災害の起こるおそれ

雨の様子

防災気象情報
氾濫警戒情報
洪水警報

川の様子

避難情報等
高齢者等避難

施設の行動
避難開始



【防災情報入手】

指定河川洪水予報 検索



表の赤色：**氾濫警戒情報**

避難準備・高齢者等避難開始



市町村からの
・防災情報メール
・電話、fax など

【施設の防災イメージ(例)】

- ◆ 施設責任者への報告 (氾濫の危険性)
- ◆ 避難判断・避難指示
- ◆ 従業員への説明
- ◆ 館内放送 (避難開始)

避難開始

◆ 立退き避難 (水平避難)

◆ 屋内安全確保 (垂直避難)

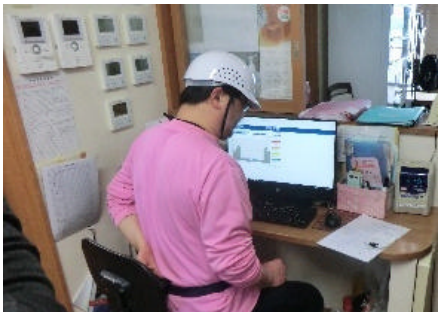
避難訓練の内容

避難訓練の内容

【選択編】

共通訓練【必須】

- 管理者及び従業員等にて、防災気象情報の確認訓練



初動訓練

- 管理者等への状況報告訓練



- 職員参集訓練



避難準備訓練

- 避難に必要な備品等の確認訓練

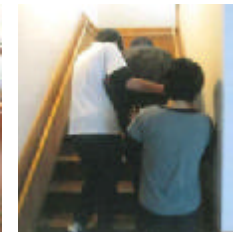
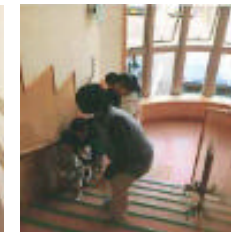
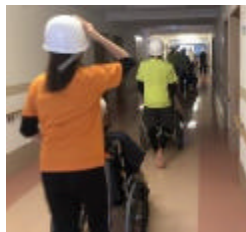


非常体制訓練

- 避難先への移動訓練（立退き避難訓練）



- 施設内の屋内安全確保（垂直避難訓練）






◆ 訓練目標の設定が重要です！

- 避難は想定しているより時間がかかります。
- 訓練目標を決め、訓練結果を振り返り、避難計画を見直しましょう。
- 災害は想定どおりには発生しません。様々な状況をイメージすることが必要です。
- 避難訓練では、訓練時間を計測し、訓練後の見直しや工夫が重要です。

【共通訓練】: 防災体制の確認(1)【情報の収集・報告・判断訓練】

実施の有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
□	<p>■ 訓練開始</p> <p>訓練①: 気象情報を収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビのdボタン(NHK)を確認する。 ・気象庁のホームページを確認する。 ・気象台のホームページを確認する。 ・防災情報メールを確認する。 ・市町村ホームページを確認する。 ・ラジオから情報確認する。 	(例) 様式3で整理した気象情報について、操作に迷わず円滑に確認する		
□	<p>訓練②: 河川水位情報を収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「川の防災情報」を確認する。 ・河川事務所の水位情報やライブカメラの情報を確認する。 ・防災情報メールを確認する。 	(例) 様式3で整理した洪水予報・河川水位について、操作に迷わずに確認する		
□	<p>訓練③: 責任者に台風や河川水位の情報を報告する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風の影響予測を報告する。 ・現状の水位情報を報告する。 	(例) 情報収集伝達要員は設定した防災情報を確認後、速やかに責任者に伝える		
□	<p>訓練④: 責任者が「心のスイッチを入れる」判断と必要な指示を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の状況、今後の予測情報を踏まえ、施設内の防災体制に移行するための決断を行う。 	(例) 職員は様式12に沿った役割を確認する		
□				

【共通訓練】: 防災体制の確認(2)【情報の収集・報告・判断訓練】

実施の有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
□	<p>訓練⑤: 避難準備・高齢者等避難開始などの避難情報を確認し、責任者に報告する</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村ホームページから避難情報を確認する。 河川の水位情報を確認し、避難判断水位に達していないか、到達するおそれがないか確認(予測)する。  <p>避難情報が発令されました</p>	(例) 情報収集伝達要員は設定した防災情報を確認後、速やかに責任者に伝える		
□	<p>訓練⑥: 責任者が避難開始を判断し、指示を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 気象情報、河川水位情報に応じた対応(様式2)の指示を行う ⇒どのような気象情報、水位情報のときに、どのような対応をすべきか判断・指示することが大事です。  <p>避難を開始しますので、車の手配をお願いします。</p>	(例) 避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら、職員に避難開始を指示する		
□	<p>訓練⑦: 施設利用者への説明を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難訓練を行うことについて、利用者の状況に応じて、適切な説明を行う。 ⇒移動することを別な表現(散歩など)で説明することも工夫の一つです)  <p>避難場所まで避難します</p>	(例) 訓練を行うことの説明をわかりやすく説明する		
□				

【訓練時における課題や気づき】

避難訓練実施後に振り返りポイント

1. 設定した「訓練目標」は達成出来ましたか？
2. 訓練でよかったことや得られたことは何でしたか？
3. 避難にかかった時間は、事前の見込みのとおりでしたか？
(見直しをする必要はありませんか)
4. 改善が必要な施設の体制はありませんでしたか？
5. 避難確保計画で見直しや追加が必要な項目は何でしたか？
6. 本当に災害が発生しそうになったときに、施設利用者や職員は、助かることができそうでしょうか？

⇒ 訓練参加者全員で振り返りを実施しましょう！

訓練結果の報告

◆訓練実施後は報告が必要です！

- 令和3年5月の水防法等改正により、訓練結果の報告が義務付けられています。
- 訓練結果を振り返り、報告書を作成してください。
(市が作成した報告書様式でなくても問題ありません。)
提出先一覧をご覧ください、ご提出ください。
- 訓練後、避難確保計画に変更が生じた場合は、再度ご提出いただくようお願いします。